

# 2019年3月1日から2025年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センター で急性期脳梗塞と診断された方へ

## —急性期脳梗塞における骨髄増殖性腫瘍の頻度と早期発見因子の検討へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 脳卒中医学 講師 植村 順一

研究分担者 川崎医科大学脳卒中医学 講師 山下 眞史

川崎医科大学脳卒中医学 准教授 井上 剛

川崎医科大学脳卒中医学 教授 八木田 佳樹

岡山赤十字病院 脳卒中科 部長 岩永 健

岡山赤十字病院 脳卒中科 医長 岡田 博

### 1. 研究の概要

脳梗塞になられた方の中にごくまれに骨髄増殖性腫瘍を合併している方がおられます。その頻度を調査するとともに、入院時の通常の病歴、診察所見、MRI 所見で骨髄増殖性腫瘍を早期に発見できないかどうか、診療録から検討する研究です。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2019年3月1日から2025年12月31日まで川崎医科大学総合医療センター、岡山赤十字病院に入院した20歳以上の発症7日以内の急性期脳梗塞患者1500名を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日から2029年3月31日

#### 3) 研究方法

上記の研究対象期間に川崎医科大学総合医療センターおよび共同研究機関（岡山赤十字病院）において急性期脳梗塞と診断された方で、研究者が診療情報をもとにMPNを合併した群（MPN群）のデータを選び、MPN群とMPNがない急性期脳梗塞患者（Control群）を患者背景、NIHSS、血液検査所、頭部MRI画像所見で比較、検討を行います。収集した情報をもとに比較、検討・解析を主施設である川崎医科大学総合医療センター脳卒中科にて行います。

#### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、入院時の血液検査、頭部MRIMRA所見等

#### 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター脳

卒中科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合のみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、（2027年3月31日までの間に）下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 脳卒中科

氏名：植村 順一

電話：086-225-2111 内線48102（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail:uemuratrail@yahoo.co.jp

## 3. 資金と利益相反

この研究において、学内研究費を使用します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。